

感染症週報〔市内週報 平成22年第13週〕

結核・感染症発生動向調査

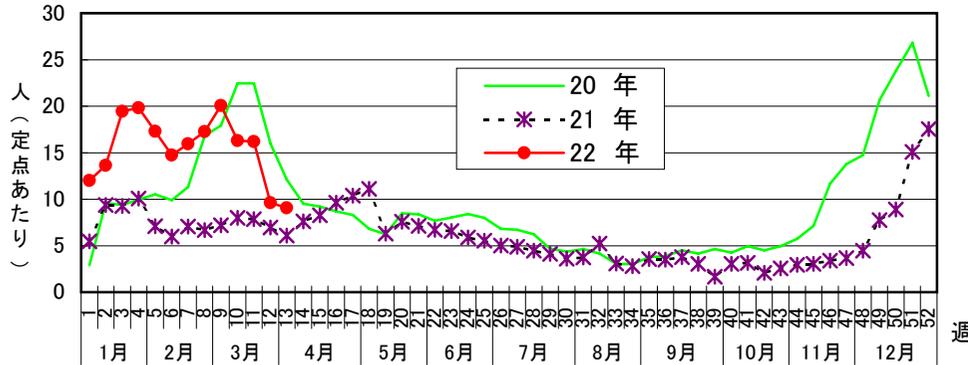
平成22年4月6日

平成22年第13週感染症発生状況【川崎市内】

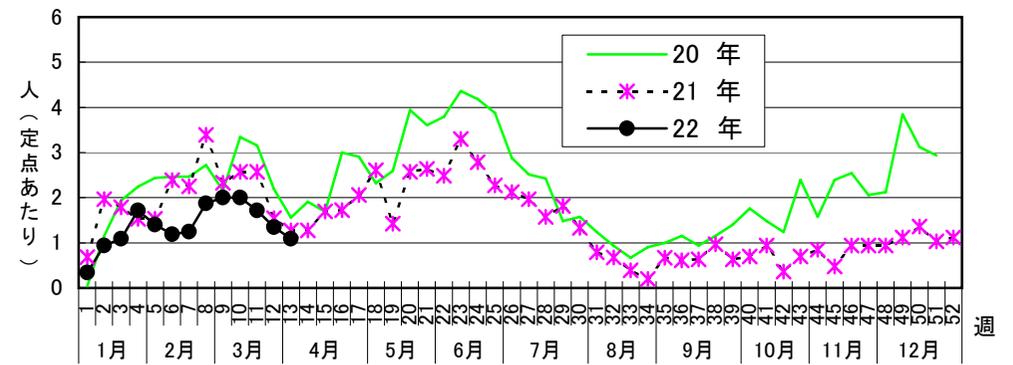
平成22年3月29日～平成22年4月4日

5類感染症(定点把握疾患)等	全数把握疾患	届出	累計(平成22年第1週以降)
<p>第13週で報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) 水痘 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎となっています。感染性胃腸炎が定点あたり9.06人と4週連続で患者報告数は減少しました。</p> <p>水痘は定点あたり2.13人で、特に高津区で報告が多く、流行発生注意報基準値(定点あたり4人)を超えています。</p> <p>多くの感染症で患者報告数は減少傾向にありますが、学校等の新学期が始まり、集団生活が開始されることから、今後の発生動向に注意が必要です。</p>	1類感染症	なし	なし
	2類感染症	結核 6件	結核 80件
	3類感染症	なし	腸チフス 1件、腸管出血性大腸菌感染症 2件
	4類感染症	なし	デング熱 1件、A型肝炎 1件、レジオネラ症 2件
	5類感染症	なし	アメーバ赤痢 6件 クロイツフェルト・ヤコブ病 1件 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件 後天性免疫不全症候群 1件 梅毒 1件 風しん 1件 麻しん 2件

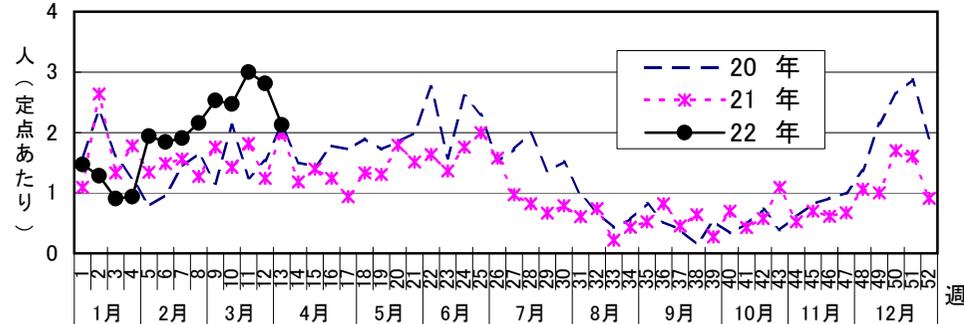
感染性胃腸炎発生状況(3年間)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



水痘発生状況(3年間)



インフルエンザ発生状況(3年間)

